



長橋 良隆

NAGAHASHI Yoshitaka

博士 (理学) 大市立大学

略職歴

1997年 福島大学採用助教授

学会活動

日本地質学会, 日本第四紀学会,
地学団体研究会, 日本火山学会,
日本岩石鉱物鉱床学会

社会活動

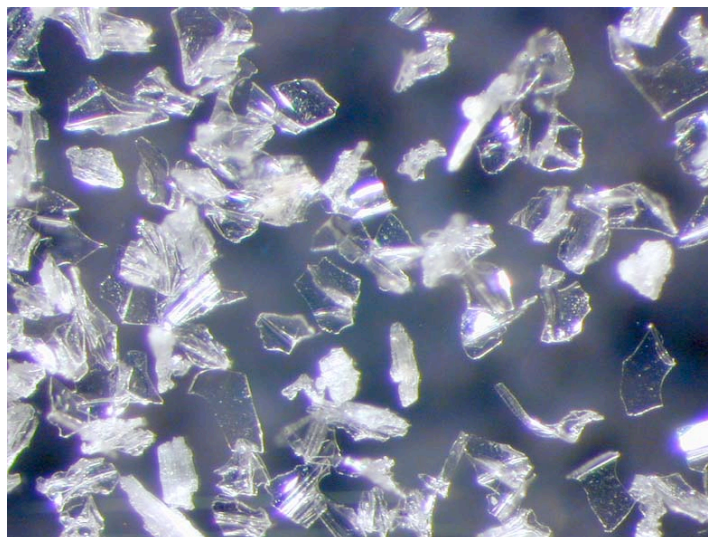
駒止湿原保存方策調査検討委員
会委員 (2001~2003年度)
猪苗代湖 pH 上昇原因検討委員
会 (2005年度)
子どもの夢を育む科学展実行委員

主な担当科目

地球環境科学概論, 地球環境科学
実験, 地球環境調査法

1) 爆発的火山噴火の歴史を探る

爆発的な火山噴火により, 地表に噴出した破片状物質のことをテフラといいます. テフラの積み重なりとその分布や層厚から, どんな噴火様式・規模の噴火が, どんな頻度で発生したのかを過去にさかのぼって調べます. 破局噴火は起こるのか, 起こるとしたらその予測は可能か, また, 地球環境にどんな影響がおよぶのか, などの研究に取り組んでいます.



テフラに含まれる火山ガラスの顕微鏡写真 (写真の横幅が 2mm)

2) 自然環境の変遷史に関する研究

地質学的手法による自然環境変遷史の構築と地層に残された人類活動の検出とその影響について調べています. 現在, 長野県北部の野尻湖をフィールドに, さまざまな専門分野の方と研究を進めていますが, 県内の盆地・平野や河川・湖沼についても調査したいと考えています.

相談に応じられる分野 (テーマ)

- ①火山学 (火山噴火と災害・防災)
- ②地質学 (平野・盆地や河川・湖沼の自然環境変遷史)

キーワード: 地質, 火山, 災害, テフラ, 自然環境変遷史

代表的な業績 (論文, 著書, 特許等):

「近畿地方および八ヶ岳山麓における過去 43 万年間の広域テフラの層序と編年」. 第四紀研究, 43, 15-35.
「ふくしまの火山と災害」. 歴史春秋社, 162p.